

インターネット動画を利用した 事業広報活動からの展開

益本 創志¹

¹近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所 工務課 工務第一係員（〒918-8239福井県福井市成和1-2111）。

山間で施行されているダム的大型公共事業は、社会の人目に触れることが少ない。そこで、社会の理解を深めるために、より「伝わる」広報手法として、タイムラプスカメラと呼ばれるカメラを使用して大型公共事業の工事状況などを撮影する手法を用いて、インターネットを通して動画を社会に発信する広報活動を行っている。さらに、そこからの展開として、動画を活用して、現場監視にも利用できる可能性を秘めているという利便性を説明していく。

キーワード TPCM, Channel Asuwagawa, TLC, PM→PR→PR

1. 大型公共事業の広報が持つ現状と課題

大型公共事業が持つイメージから、社会とインフラが切り離されており、公共事業に対する認識や理解が得られにくいのが現状である。

ダム建設を例に見てみると、ダムは川の上流、すなわち山間で行われることがほとんどで、その便益を享受する下流域においては、都市化の進展や生活様式の近代化などにより、日々の生活と川とのつながりを意識する機会が少なくなってきた。

こうしたことから、下流域はじめ社会に広く大型公共事業に対する認識と理解を求めていくために、遠く離れた山間で整備を行っているダム建設をインターネットの動画により、効果的な視覚で説明する方法を築くことが課題である。

2. コミュニケーション手段としてのTPCM

大型公共事業について、広く認識と理解を求めていかなければならないのであるが、考えられるコミュニケーション手段のひとつとして、TPCMがある。TPCMとは、

T : Target (相手)

P : Perception (認識)

C : Contents (伝える内容)

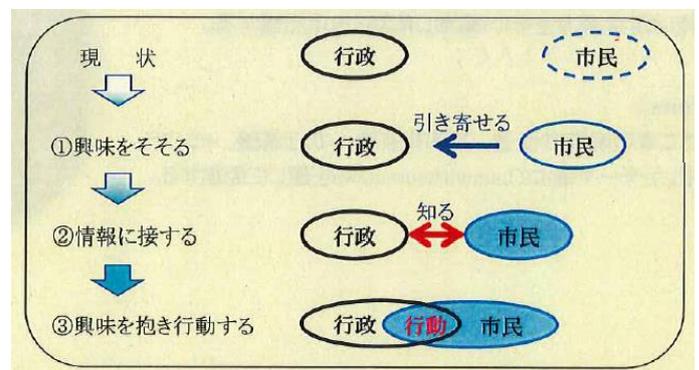
M : Means (方法・手段)

の頭文字を取ったものであり、人を動かすコミュニケーション戦略を表している。

現状、公共事業の必要性については、行政側から広報活動を行っているだけの一方通行であることも考えられる。また、受け手側の社会は、情報が洪水のように溢れており、取捨選択される時代でもある。

行政と市民の双方向の関係、対話や協働を築くためには、まず情報に触れる機会を作り、発信する場に人を引き寄せ、情報に接し、興味を抱き行動する仕組みが必要となる。

(図-1)は、行政が目指すべき方向性を示したものである。



(図-1) TPCMの概要

3. ネットを利用した広報手段

広く手軽に広報活動が行える上に、大きな期待が持てる広報手段として、SNS・Instagram・YouTube等の、インターネットを利用した広報活動が挙げられる。

国土交通省では、インフラツーリズム専用のFacebookを開発し、積極的に広報活動を行っている。(図-2)

4. 足羽川ダム工事事務所における取り組み

(1) Channel Asuwagawa について

足羽川ダム工事事務所では、Channel Asuwagawa という、YouTubeのチャンネルを開発した。このチャンネルでは、工事の進捗状況や地元の観光資源、行事等の情報を伝える数分程度の動画を事務所職員の手作りにより撮影、編集している。(図-3)

例えば、最初の大型工事である水海川導水トンネル工事や付替道路工事の工事状況について投稿を行っている。その他にも、観光資源・行事として、ダム水源地域内の

観光資源でもある滝の様子や伝統芸能について紹介している。(図-4)

工事の進捗状況の撮影に使用しているのは、TLC (Time Lapse Camera) と呼ばれるカメラで、対象を低速度撮影(例:30秒に1回撮影)し、静止画をつないで動画として出力するものであり、構築する躯体の鉄筋が組み上がっていく状況、コンクリートが打設されていく状況、機械設備が搬入・据付されていく状況など、長期間に及ぶ工程を時短プレイのように記録し、詳細な作業過程を容易に目で見て確認できるようになることが特徴である。

また、静止画の連続であることから、通常の動画データより遙かにデータ容量が小さく記録でき、数ヶ月から数年といった長期間の撮影に適している。

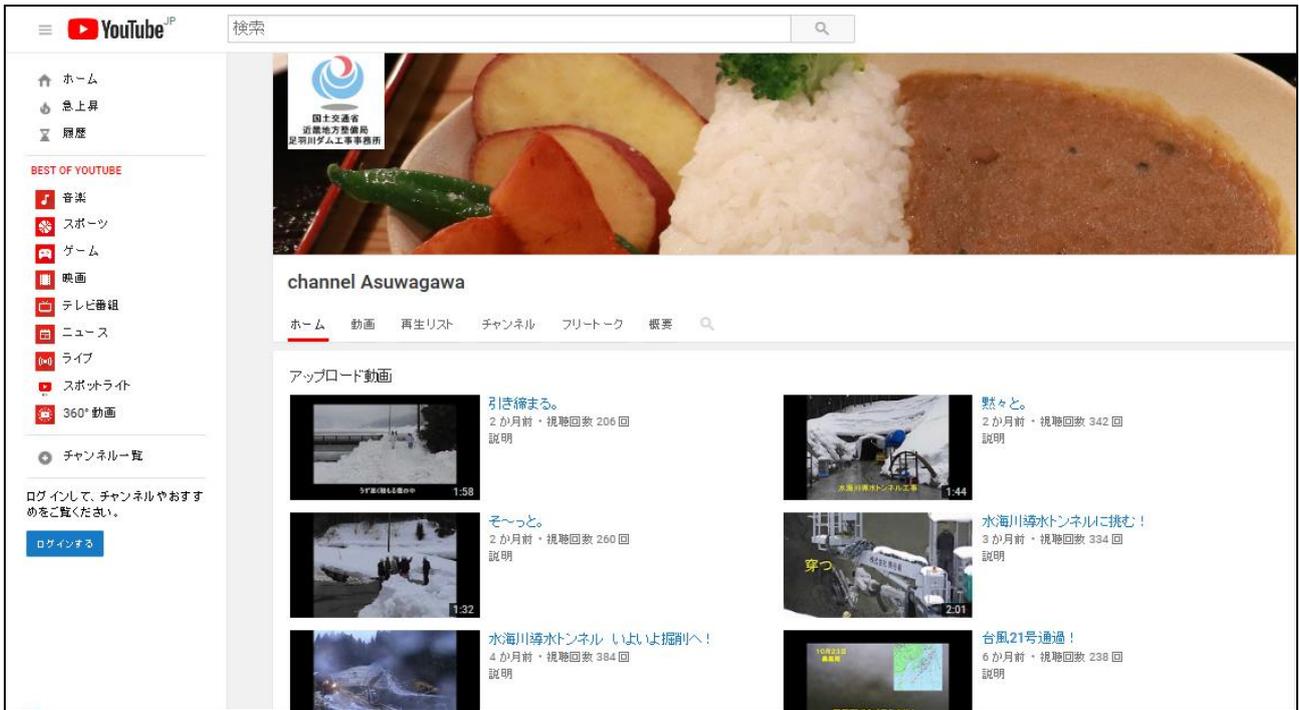
(2) TLCを使用する意義について

TLCでの撮影は長期間に及ぶ工期を非常に短い時間で把握することが可能であり、事業広報に適している。

また、足羽川ダムの建設現場は、ダム建設による集落の移転も既に完了しているため、TLCで撮影した画像共有することで、ダム建設地が故郷であった方々はもちろん、社会に広くダム建設を知ってもらう機会にもなる。



(図-2) 国土交通省インフラツーリズム専用Facebook



(図-3) Channel Asuwagawaのトップページ



(図-4) Channel Asuwagawa で投稿した動画

5. 事業監理から広報までの流れ (PM→PR→PR)

事業監理から広報までの流れを表す過程として、PM→PR→PRの考え方があ。これは、事業監理 (Project Management) ⇒ 工事記録 (Project Records) ⇒ 広報 (Public Relations) の略である。各課程におけるポイントを次に示す。

- (1) 事業監理
 - ・ 構造物構築に伴う不可視部の確認や施工状況の把握を、TLC (タイムラプスカメラ: Time Lapse Camera) を活用して行う。
 - ・ 異動・行動の記録により安全管理の意識の向上を図る。
- (2) 工事記録
 - ・ 動画を記録するにあたっては工事の進捗が長時間に渡ることを踏まえてTLCも活用していく。

・主要工事，工法等は定点観測を行い編集し，解説を加え記録する。

(3) 広報

・一般を対象として工事理解度の促進，工事関係者への親近感を目指し，テーマ毎に発信する。

このように，TLC・インターネット動画ツールを用いた広報手法は，工事監理・地域振興といった分野にまで同時に活用が期待されるため，PM→PR→PRのポイントを踏まえて各段階を実行することにより，今後の広報手法において，さらに効果的な結果が得られると考えている。

6. 足羽川ダムの今後の展開について

足羽川ダム建設事業は，2017年度からダム完成に向けて，切れ目なく工事が継続されており，事業監理の重要性はかなり大きいといえる。今後は，現場の状況をより把握できるように，現場の数カ所にTLCを設置して，工事状況の撮影を行い，撮影された動画から，工程管理や，不安全行動などの監視にも役立てていきたい。さらに，動画を随時AsuwagawaChannelに投稿することで，ダム建設について興味を持つ人が増えることを望んでいる。

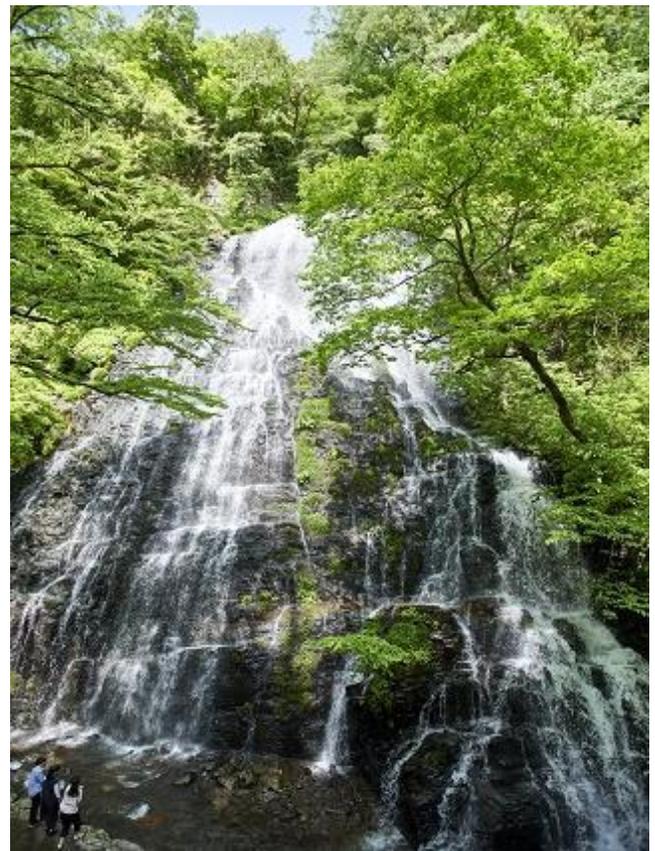
また，ダム建設現場周辺の水源地域である池田町には，山間に張ったワイヤロープを滑車で下りるアトラクションとして，日本一の距離・地上高を誇るメガジップラインを持つアドベンチャー施設「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ」(図-5)や，日本の滝100選の1つとして指定されている「龍双ヶ滝」(図-6)などの観光施設があり，これらの施設も含め，AsuwagawaChannelに投稿することで，より多くの人々の興味を引き，インフラツーリズムにも活用していきたいと考えている。

Adventure Park
アドベンチャーパーク

樹上に広がる森のジャングルジム。活動的な冒険コースや、ゆっくりとした時間を過ごすコースなど、4つの多彩なプログラムをご用意しています。

日本初 観音コース

| | |
|---|--|
| <p>ディスカバリーコース 【34エレメント】</p> <p>樹上3-12mに設置された34のエレメントに挑戦する冒険的な冒険コース。コース上から見える景観も楽しめます。</p> <p>所要時間：約120分 利用料金：¥3,700(税込)</p> <p>利用条件：身長140cm以上/体重100kg以下 小学生は30歳以上の保護者が必ず大人1人につき大人2名で参加必須</p> | <p>キッズコース 【6エレメント】</p> <p>お子さまだけでチャレンジできるミニ冒険コース。特別な安全システムを使用しているため、初心者でも安心してご利用いただけます。</p> <p>所要時間：約40分 利用料金：¥1,100(税込)</p> <p>利用条件：身長110cm以上/体重40kg以下</p> |
| <p>ピクニックコース 【観音デッキ4ポイント】</p> <p>100年樹のハンモックで寝ころんだり、森のオウサマで遊んだり、樹上でお弁当の時間を楽しんでください。</p> <p>所要時間：約60分 利用料金：¥3,200(税込)</p> <p>利用条件：身長140cm以上/体重100kg以下 小学生は30歳以上の保護者が必ず大人1人につき大人2名で参加必須</p> | <p>ツリークライムコース 【3エレメント】</p> <p>クライミングで水登り、樹上からのジャンプ、大きな樹間スイングなど、森をダイナミックに楽しむ冒険コース。</p> <p>所要時間：約60分 利用料金：¥2,800(税込)</p> <p>利用条件：身長140cm以上/体重100kg以下 小学生は30歳以上の保護者が必ず大人1人につき大人2名で参加必須</p> |



(図-6) 「日本の滝100選」龍双ヶ滝²⁾

図-5) ツリーピクニックアドベンチャーいけだ¹⁾



(参考図) 今後の展開活動のイメージ図

付録：・足羽川ダム工事事務所公式YouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCKFVrdu3XJir0hco4Jjq79w>



足羽川ダム工事事務所公式チャンネル (QRコード)



(参考図) Channel Asuwagawa の紹介チラシ

参考文献・出典

- 1) 「Tree Picnic Adventure IKEDA」公式HP
<https://www.picnic.ikeda-kibou.com/>
- 2) 「いけだ農村観光協会」龍双ヶ滝HP
<https://www.e-ikeda.jp/see/p004016.html>